

漁師さんが森林に期待する機能とは？

北海道内では近年漁協婦人部を中心とした植林運動が活発化するなど森-川-海のつながりに対する関心が高まっており、林業試験場でも研究を進めています。こうしたなか、森林に対する漁師さんの意識を把握するため、噴火湾沿岸域6漁協でアンケート調査を実施しました。

すると、「魚にとってよい森林」はどの地域でも「広葉樹林」と回答する人が多く（図-1）、その理由として、DとEの漁協は「プランクトン増殖」、Fは「保水力向上」、Cは「落葉供給」を挙げる傾向が表れ（図-2）、認識には地域特性があることがわかりました。全体としては「わからない・無回答」の人も半数近くを占めましたが、今後上流域と連携を図ることに 대해서는、回答者の9割近くが積極的に考えており（図-3）、関心の高さが改めて示されました。

（流域保全科）

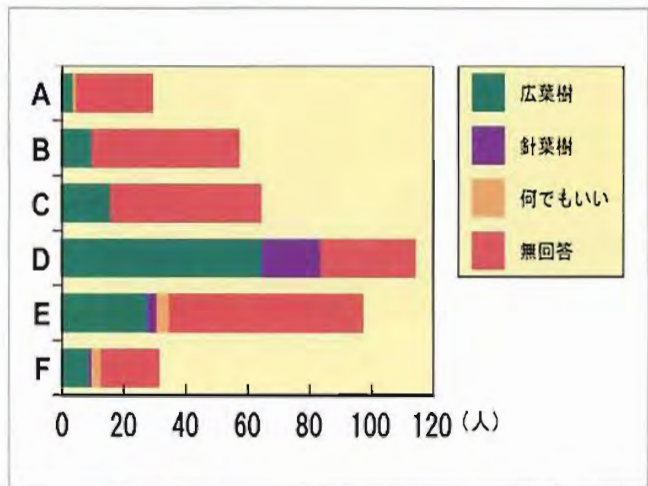


図-1 魚にとって良い森林とはどんな森林ですか？に対する回答

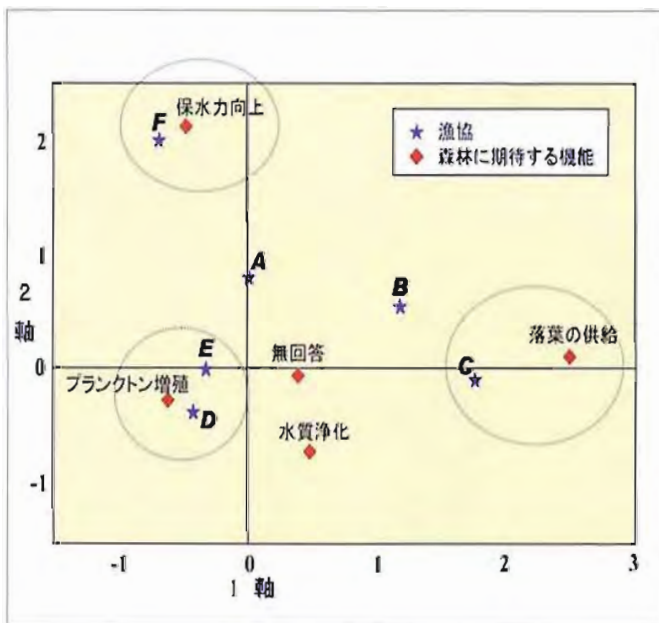


図-2 地域ごとに特徴づけられた森林に期待する機能（対応分析によって解析）。

各プロット間の距離は相対的なもの。

1軸の負の方向は「プランクトン増殖」という項目が大きく関わっており、同じ方向にプロットされた「漁協D」の漁師さんは、森林に対し「プランクトン増殖」の機能を強く期待している、と解釈できます。

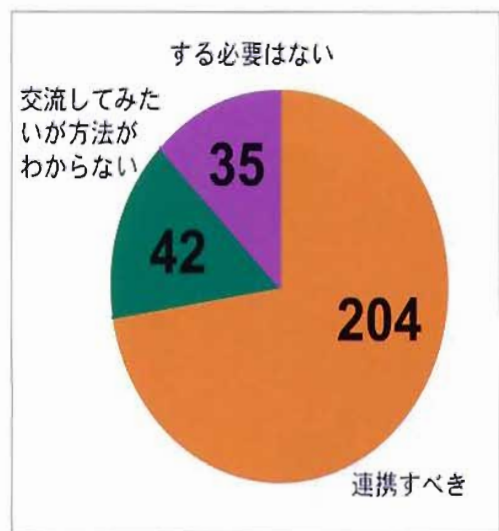


図-3 沿岸域の環境保全のために上・下流が連携をとることについてどのようにお考えですか？